

映像で見る「イスラム国」と 周辺地域に暮らす女性や子どもたちは今



イラク軍とISとの戦闘の巻き添えで夫を殺された25歳の母。
5人の子どもたちが残された。(モスル市内2月撮影・玉本英子さん)

イラク第二の都市モスルは2年半以上「イスラム国」ISによって支配されました。IS支配地域で何が起きていたのか。ジャーナリストの玉本英子さんはモスルに入り、ISとイラク軍・米軍などの有志連合との戦闘のはざままで苦しむ市民たちの声に耳を傾けました。

一方、イラク北西部でISに拉致、強制結婚させられた少数派ヤズディ教徒たちのその後や、生活に困窮し、いじめにあったりする国内避難民の現状なども取材されています。

取材映像と写真をまじえ、わかりやすく伝えていただきます。

ぜひ、ご参加ください。

日時：9月16日(土)13:30～15:30

会場：とよなか国際交流センター(阪急豊中駅下車すぐ)

講師：玉本 英子(たまもとえいこ)さん

アジアプレス記者。イラク、シリア、トルコなど中東地域を中心に取材、テレビ、新聞やネットニュースなどを通じて伝え続けている。

- ISがモスルの女性たちへ外出時に強制着用させたヒジャブの試着ができます
- イラクコーヒー試飲と甘いものあります。

主催・申し込み：兵庫県ユニセフ協会 電話 078-435-1605

共催：コープこうべ大阪北地区活動本部